

## 【豊島区さくら通信6】染井よしの桜の里公園と門と蔵のある広場

### ～ 4 月からオープン！ソメイヨシノ桜 PR と防災拠点に ～

ソメイヨシノ桜の発祥地駒込に、いよいよ 4 月、新しい公園と広場がオープンする。都内の桜が見ごろを向かえた本日 28 日、駒込の地域住民らが多数出席し、待ちわびた公園のオープニングを祝った。

午後 2 時から、門と蔵のある広場の除幕式を開催。続いて、「染井よしの桜の里公園」では、仰高小学校、駒込小学校の児童の合唱や駒込中学校吹奏楽部の演奏がイベントに花を添えた。

日 時	3 月 28 日（土曜日）午後 2 時～門と蔵のある広場、3 時～染井よしの桜の里公園	
当日の様子	<p>門と蔵のある広場のセレモニーには、街づくり協議会のメンバーや元の所有者丹羽康雄氏と家族、広場の案を描いた駒込小学校の児童ら、広場の開園を待ちわびていた人々が参加した。</p> <p>染井よしの桜の里公園は、風車と太陽光発電、かまどベンチ、40 トンの貯水槽等を備えた災害時の拠点になる広い公園。式典には、町会関係者や公園完成までに様々な形で関わってきた多くの地域住民が来場した。</p> <p>高野之夫豊島区長は「防災・苗床など色々な目的に使えるこの公園は、駒込の核になると思います。駒込が桜の回廊ようになり、駒込ブランドが大きく発展することを心から願っています」と述べた。</p> <p>また、染井吉野研究会会長の原口時夫氏は、「駒込の発のソメイヨシノ桜を育てる公園ができ、『日本の駒込』PR のために一歩も二歩も前進したと思う」と喜びを語ってくれた。50 周年を記念事業として、二つの公園に苗木や桜説明板を寄贈した、東京池袋ロータリークラブのメンバーによる植樹も行なわれた。</p>	
背景 補足事項	<p>◇ 染井よしの桜の里公園…平成 19 年度に日本興業銀行跡地を区で取得し、災害時には防災拠点にもなる公園として整備した。ソメイヨシノ発祥の地であることからソメイヨシノやその原木「オオシマザクラ」「エドヒガン」を植栽し、駒込小学校から桜の回廊でつなぐ。公園面積：約 2600 平方メートル、事業用代替地：約 900 平方メートル</p> <p>◇ 苗床…事業用代替地の一角に苗床を植え、3 年ほど育成し「発祥地育ちの染井よしの桜」を区内外の公園等に配布していく。</p> <p>◇ 門と蔵のある広場…染井を代表する植木職人として活躍した旧家丹羽家の邸宅跡地。平成 18 年度に取得し、駒込地域まちづくり協議会主催のワークショップからの提案に基づき整備を進めてきた。染井のシンボルとして親しまれてきた津藩藤堂家下屋敷の裏門を移築したとされる門（区指定有形文化財）と、1936 年に建築されたとされる蔵（国の登録有形文化財（建造物））がある。広場面積：1110 平方メートル</p>	
写 真 * 写真はメ ールで送り ます	 <p>門と蔵のある広場の命名石除幕</p>	 <p>染井よしの桜の里公園のテープカット</p>
問 合 せ	住環境整備課、公園緑地課	

# 駒込地区の公園・広場づくり



災害時に使用できる  
かまどベンチ、スツール、非常用炊  
事場、倉庫などを設置します。

災害時に使用できる  
かまどベンチ、スツール  
などを設置します



## 染井よしの桜の里公園

平成19年度に日本興業銀行跡地を区で取得し、災害時には、皆さんの防災拠点にもなる公園として、平成21年3月までに整備いたします。  
ソメイヨシノ発祥の地であることからソメイヨシノやその原木を植栽し、駒込小学校から桜の回廊でつなぎます。

公園面積: 約2,600㎡  
事業用代替地: 約900㎡  
(道路拡幅協力者の移転用地)

## 門と蔵のある広場

平成18年度に取得し、平成19年度に駒込地域まちづくり協議会主催のワークショップ(6回開催)による提案に基づき進めてまいりました。

門と蔵を生かし、災害時には救援センター(駒込小学校)の役割を補完する広場として、平成21年3月までに整備いたします。  
広場面積: 1,110㎡

旧丹羽邸門(保存)  
平成19年8月3日、  
豊島区指定有形  
文化財に指定

## 「染井よしの桜」の苗床

染井よしの発祥の地「染井」の植木屋の中心地であった「染井よしの桜の里公園」で「発祥地育ちの染井よしの桜」を育成し、区内外の公園等に配布していくと計画しています。



**【豊島区さくら通信7】 第31回すがも染井吉野桜まつり開催**  
 ～ 「桜まつり」パレードに北京オリンピック銅メダリストも参加 ～

3月27日(金)～29日(日)の3日間にわたり、巣鴨駅前で“春の全国交通安全運動”「第31回すがも染井吉野桜まつり」が開催されている。桜まつりは、巣鴨駅前商店街振興組合が、染井・巣鴨周辺の植木屋によって作られたソメイヨシノ桜の発祥の地に因み、「交通安全」と「ソメイヨシノ発祥の地」をアピールしようと昭和54年から毎年開催しているイベントだ。

2日目の今日は、まつりのメインである「パレード」が、白山通り・巣鴨地蔵通りにて華やかに行われた。パレードは、春の交通安全週間運動の一環として警視庁騎馬隊が先導する「交通安全パレード」と、学生などによるマーチング競技会「Sugamo Marching Classic」(すがもマーチングクラシック)の2部構成。毎年400名以上が参加する大規模なパレードとなっている。競技会は今年で3回目。中学校、高等学校、大学のマーチングバンド部・吹奏楽部など5団体が参加し、華やかな演技・演奏を競い合った。

交通安全パレードには、北京オリンピック競泳銅メダリストの中村礼子(なかむられいこ)さん(地元の「東京スイミングセンター」に所属)が、一日署長として参加。競技会の審査員も務めた。また、ソメイヨシノ桜の観光大使も参加し、豊島区発のソメイヨシノをPRした。

期間中は「すがも駅前のれん市」が開かれ、商店街有志の各店で割引などのサービスが行われている。同時に、交流が深い秩父市の観光キャンペーンも開催。食事や買い物など、“ちょっとお得”な巣鴨を楽しめる。

日 時	第31回すがも染井吉野桜まつり 3月27日(金)～29日(日) 桜まつりパレード・Sugamo Marching Classicは28日(土)のみ開催(午後1時30分から)
場 所	JR 巣鴨駅前、巣鴨地蔵通り、白山通り
主 催	巣鴨駅前商店街振興組合 協力：巣鴨警察署、町会 協賛：(株)豊島にぎわい創出機構、巣鴨信用金庫、日本マーチングバンド・バトントワーリング協会関東支部
当日の様子 参加者の声 など	<p>パレードが始まるころには快晴となり、沿道にはたくさんのお客さんが列をなしていた。警視庁騎馬隊などに先導されながら、パレードはJR巣鴨駅前を出発。白山通りから巣鴨地蔵通りに入り、再び白山通りから巣鴨駅前に戻る、というルートでゆっくりと進んだ。</p> <p>5台のオープンカーの先頭には中村選手が乗り込んだ。続いて、小池百合子衆議院議員や高野之夫豊島区長、ソメイヨシノ桜の観光大使や長島理事長等がオープンカーで行進した。</p> <p>沿道に陣取ったお客さんが「中村さん」「百合子さん」などと呼びかけ、中村選手や小池議員が笑顔で手を振るといった一幕も目にすることができた。</p> <p>パレードが無事終わり、巣鴨駅前で競技会「すがもマーチングクラシック」が始まった。</p> <p>巣鴨駅前商店街振興組合の長島眞(ながしままこと)理事長は、「目玉の一つである、すがもマーチングクラシックも規模を拡大しながら続けて今年で3回目。参加してくれる地元学校も乗り気で、学生の皆さん、この日のために一生懸命練習してくれているそうです。これからも地域の活動の励みとなるよう、続けていきたいです」と語った。</p>
写 真 *写真はメ ールで送り ます	<p>一日署長の中村礼子さん</p>  <p>小池議員と高野区長</p> 
問 合 せ	巣鴨駅前商店街振興組合